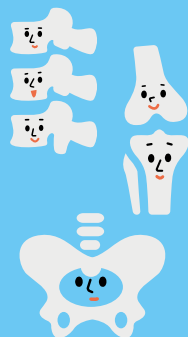


ビスホスホネート系薬剤で治療中および
これから治療を受けられる骨粗しょう症患者さんへ



骨粗しょう症と 口の健康



骨粗しょう症患者さんの
口腔ケア



監修

松本歯科大学歯学部 歯科放射線学講座 主任教授

田口 明 先生

骨粗しょう症患者さんで **口腔ケア**が大切なわけ

- ❖ 骨粗しょう症の患者さんは、歯を支えている骨が弱くなったり、歯の周りの組織に炎症が起こりやすくなるため、歯周病になりやすいことがわかっています。

Xu S, et al, Oral Dis 2021;27(2):357-369.
Katz J, et al, J Endod 2021;47(2):234-238.

- ❖ 歯周病が悪化すると、あごの骨にも炎症が広がり、**顎骨骨髄炎**や**顎骨壊死**がみられることがあります。

下記のような症状がみられた場合はすぐに歯科または口腔外科を受診してください。

- あごに鈍い痛みが続いている
- 歯肉の孔から膿(うみ)が出続けている
- 下くちびるや下あごあたりがしびれる



顎骨骨髄炎・顎骨壊死を予防するには、適切な口腔ケアにより口の中を清潔に保ち、口腔内の感染を防ぐことが重要です。

骨粗しょう症患者さんの **口腔ケアのポイント**

◎ 口腔内を清潔に

- ブラッシングなどで口腔内を清潔に保ちましょう。



◎ 歯科の受診

- 骨粗しょう症治療を始める前に歯科を受診し、歯の治療をすませておきましょう。
- 骨粗しょう症治療中は、3カ月に1度は歯科で歯や歯ぐきのチェック、ブラッシング指導、歯石の除去などを受けましょう。

◎ 歯科医への相談

- 歯科受診時には、骨粗しょう症の治療中であることを歯科医へ伝えましょう。



口腔ケアの方法

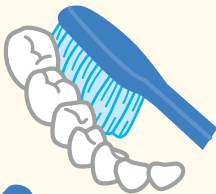
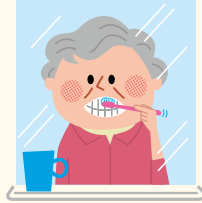
- 口腔ケアでは、歯ブラシや補助用具を用いて確実に歯垢(プラーク)を取り除くことが大切です。
- みがき方がよくわからない場合は、歯科医、または歯科衛生士にご相談ください。

ブラッシングのポイント

ポイント ① 毛先をきちんとあてる

ポイント ② 軽い力でみがく

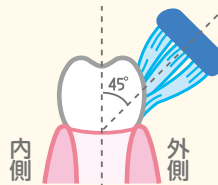
ポイント ③ 小刻みに動かす



下の奥歯の内側
のあて方



内側のあて方



歯と歯肉の境目
のあて方



外側のあて方

デンタル フロス



歯と歯の間をゆっくりと前後させ、歯ブラシが通らない部分の歯垢をかき出します。

歯間 ブラシ



歯と歯の間にブラシ部分を直角に入れ、歯ぐきを傷つけないように2~3回前後させます。

骨粗しょう症患者さんは **口腔内のケアが大切です。**

歯と歯ぐきのセルフチェック

- あごの鈍い痛みが続いている
- 歯肉の孔から膿（うみ）が出続けている
- 下くちびるや下あごあたりがしびれる
- 歯肉の腫れや出血、痛みが続いている
- 歯がぐらぐらする
- 噛むと歯がかなり痛い
- インプラントの周りの腫れや出血、痛みが続いている
- インプラントがぐらぐらしている
- 入れ歯があたり痛みが続いている



ビスホスホネート系薬剤による治療中、
抜歯等の歯科処置や口腔の不衛生などに関連して
顎骨骨髓炎や顎骨壊死がみられることがあります。
ビスホスホネート系薬剤による治療を受けていて、
上記のような症状がみられた場合は、
放置せずに医師や歯科医にご連絡ください。



大正製薬株式会社